

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2013年9月12日

【四半期会計期間】 第17期第1四半期(自 2013年5月1日 至 2013年7月31日)

【会社名】 クックパッド株式会社

【英訳名】 COOKPAD Inc.

【代表者の役職氏名】 代表執行役 穂田 誉輝

【本店の所在の場所】 東京都港区白金台五丁目12番7号

【電話番号】 03-6408-6143

【事務連絡者氏名】 執行役 百鬼 弘

【最寄りの連絡場所】 東京都港区白金台五丁目12番7号

【電話番号】 03-6408-6143

【事務連絡者氏名】 執行役 百鬼 弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第1四半期累計期間	第17期 第1四半期累計期間	第16期
会計期間	自 2012年5月1日 至 2012年7月31日	自 2013年5月1日 至 2013年7月31日	自 2012年5月1日 至 2013年4月30日
売上高 (千円)	1,103,782	1,539,432	4,982,304
経常利益 (千円)	552,763	827,254	2,701,733
四半期(当期)純利益 (千円)	342,052	517,283	1,616,613
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	831,480	851,040	847,440
発行済株式総数 (株)	16,347,600	32,920,800	16,442,400
純資産額 (千円)	4,918,922	6,589,930	6,239,802
総資産額 (千円)	5,421,445	7,292,501	7,458,169
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	10.46	15.71	49.38
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	10.31	15.42	48.52
1株当たり配当額 (円)			10.00
自己資本比率 (%)	90.3	90.0	83.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していませんので、連結会計年度にかかる主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 2013年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額を算定しています。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

経営成績の概況

2014年4月期第1四半期累計期間（2013年5月1日～2013年7月31日）の業績は、

売上高	1,539百万円（前年同期比39.5%増）
営業利益	843百万円（前年同期比49.6%増）
経常利益	827百万円（前年同期比49.7%増）
四半期純利益	517百万円（前年同期比51.2%増）

となりました。

当第1四半期累計期間の業績に関する特記事項は以下のとおりです。

- イ. 売上高は1,539百万円（前年同期比39.5%増）となりました。会員事業において、プレミアム会員数が順調に増加し、105万人を突破しました。また広告事業においては、ディスプレイ広告及びタイアップ広告が伸長しました。
- ロ. 販売費及び一般管理費は人件費を中心に増加し、673百万円（前年同期比28.8%増）となりました。
- ハ. 営業利益は843百万円（前年同期比49.6%増）となりました。なお売上高営業利益率は、増収効果によって前年同期を3.7ポイント上回る54.8%となりました。

運営サービスの状況

「クックパッド」ののべ月間利用者数は順調に推移し、2013年7月時点で3,397万人（前年同月比30.0%増）となりました。当サービスは日常の生活導線上で利用されているため、日常生活の多様なシーンでインターネットの利用が可能なスマートフォンとの相性が非常に良く、特にスマートフォンからの利用者が順調に増加し、1,767万人（前年同月比93.2%増）となりました。今後も多様化するデバイスに適應したサービスの展開に注力していきます。

またレシピ数も堅調に増加しており、2013年7月末には累計投稿レシピ数が150万品を超えました。

2013年6月に自社で実施したクックパッドの認知率調査では、20～40代女性におけるクックパッドの認知率は95.8%となり、日本最大のレシピサイトとして不動の地位を確立しつつあります（認知率調査は、2013年6月実施。マクロミルモニターを利用したインターネットリサーチ、調査対象は全国の20～40代女性936名）。

レシピの投稿・検索にとどまらず、食に関連するあらゆるシーンで利用される食のインフラへとサービスを進化させるべく、新規事業の立ち上げにも注力していきます。

事業別の状況

（会員事業）

当第1四半期累計期間における会員事業の売上高は、877百万円（前年同期比28.7%増）となりました。スマートフォン利用者数の増加に牽引され、スマートフォンからのプレミアムサービス入会者数が順調に増加しており、2013年7月末のプレミアム会員数は105万人を超えました。

「運営サービスの状況」に記載したように、20～40代女性におけるクックパッドの認知率は高い一方で、クックパッドの有料サービス（プレミアムサービス）の認知率は51.8%に留まっています。プレミアムサービスのサービス内容充実をはかるとともに、その認知や価値訴求に一層注力していきます。

（広告事業）

当第1四半期累計期間における広告事業の売上高は、660百万円（前年同期比57.0%増）となりました。大型のディスプレイ広告の受注によって売上が堅調に増加しており、ディスプレイ広告の販売を強化する方針の効果が現れています。また、ディスプレイ広告と共にタイアップ広告を展開する案件が増加し、タイアップ広告の売上も増加しました。今後も引き続き、表現力の大きな広告パネルを活かし、広く商品認知を提供するリーチ型の広告商品に注力して事業を成長させていきます。

（2）財政状態の分析

前事業年度末から当第1四半期会計期間末までの財政状態の主な変動は以下のとおりです。

資産につきましては、7,458百万円から7,292百万円に減少しました。

負債につきましては、1,218百万円から702百万円に減少しました。この主な要因は、未払法人税等の減少によるものです。

純資産につきましては、6,239百万円から6,589百万円に増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加によるものです。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,592,000
計	110,592,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2013年7月31日)	提出日現在 発行数(株) (2013年9月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,920,800	33,004,200	東京証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式です。 また、1単元の株式数は100株となっています。
計	32,920,800	33,004,200		

(注) 「提出日現在発行数」欄には、2013年9月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2013年5月1日 (注)1	16,442,400	32,884,800		847,440		846,865
2013年5月1日～ 2013年7月31日 (注)2	36,000	32,920,800	3,600	851,040	3,600	850,465

(注) 1. 株式分割(1:2)による増加です。

2. 新株予約権の行使による増加です。

3. 2013年8月1日から2013年8月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式数が83,400株、資本金及び資本準備金がそれぞれ10,632千円増加しています。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2013年4月30日)に基づく株主名簿による記載をしています。

なお、2013年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っていますが、記載数値は当該株式分割の影響を考慮していません。

【発行済株式】

2013年7月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 600		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,434,700	164,347	権利内容に限定のない標準となる株式
単元未満株式	普通株式 7,100		
発行済株式総数	16,442,400		
総株主の議決権		164,347	

【自己株式等】

2013年7月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
クックパッド株式会社	東京都港区白金台5丁目 12-7	600		600	0.00
計		600		600	0.00

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第63号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(2013年5月1日から2013年7月31日まで)及び第1四半期累計期間(2013年5月1日から2013年7月31日まで)に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けています。

3．四半期連結財務諸表について

四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則(2007年内閣府令第64号)第5条第2項により、当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目から見て、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、四半期連結財務諸表は作成していません。

なお、資産基準、売上高基準、利益基準及び利益剰余金基準による割合は次のとおりです。

資産基準	3.3%
売上高基準	0.0%
利益基準	4.7%
利益剰余金基準	2.8%

1【四半期財務諸表】
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2013年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2013年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,667,841	5,334,343
受取手形及び売掛金	1,080,619	1,246,729
繰延税金資産	147,451	71,066
その他	114,075	119,953
貸倒引当金	2,584	2,668
流動資産合計	7,007,404	6,769,424
固定資産		
有形固定資産		
建物	67,954	67,954
減価償却累計額	62,655	63,635
建物(純額)	5,299	4,319
工具、器具及び備品	79,540	76,204
減価償却累計額	55,127	50,147
工具、器具及び備品(純額)	24,413	26,057
有形固定資産合計	29,713	30,376
無形固定資産	13,175	12,384
投資その他の資産		
投資有価証券	42,000	42,000
関係会社株式	61,760	168,887
差入保証金	76,014	76,014
繰延税金資産	149,108	150,924
その他	78,993	63,885
貸倒引当金	-	1,307
投資損失引当金	-	20,087
投資その他の資産合計	407,876	480,316
固定資産合計	450,765	523,077
資産合計	7,458,169	7,292,501
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,281	11,114
未払金	342,075	336,001
未払法人税等	780,888	253,228
未払消費税等	64,561	58,293
その他	21,561	43,932
流動負債合計	1,218,367	702,570
負債合計	1,218,367	702,570

(単位：千円)

	前事業年度 (2013年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2013年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	847,440	851,040
資本剰余金	846,865	850,465
利益剰余金	4,509,800	4,862,665
自己株式	1,185	1,185
株主資本合計	6,202,919	6,562,985
新株予約権	36,883	26,945
純資産合計	6,239,802	6,589,930
負債純資産合計	7,458,169	7,292,501

(2)【四半期損益計算書】
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2012年5月1日 至2012年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自2013年5月1日 至2013年7月31日)
売上高	1,103,782	1,539,432
売上原価	17,295	22,610
売上総利益	1,086,486	1,516,822
販売費及び一般管理費	522,923	673,736
営業利益	563,562	843,085
営業外収益		
受取利息	111	3,780
受取補償金	10,024	-
その他	-	627
営業外収益合計	10,135	4,408
営業外費用		
為替差損	13,550	127
投資損失引当金繰入額	7,380	20,087
その他	3	24
営業外費用合計	20,934	20,239
経常利益	552,763	827,254
特別利益		
新株予約権戻入益	959	13,248
特別利益合計	959	13,248
特別損失		
固定資産除売却損	-	461
特別損失合計	-	461
税引前四半期純利益	553,723	840,041
法人税、住民税及び事業税	183,800	248,188
法人税等調整額	27,870	74,568
法人税等合計	211,671	322,757
四半期純利益	342,052	517,283

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりです。

前第1四半期累計期間 (自 2012年5月1日 至 2012年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年7月31日)
減価償却費 4,015千円	減価償却費 4,822千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自 2012年5月1日 至 2012年7月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2012年6月8日 取締役会	普通株式	49,040	3.00	2012年4月30日	2012年7月27日	利益剰余金

当第1四半期累計期間(自 2013年5月1日 至 2013年7月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2013年6月7日 取締役会	普通株式	164,417	10.00	2013年4月30日	2013年7月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2012年5月1日 至 2012年7月31日)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しています。

当第1四半期累計期間(自 2013年5月1日 至 2013年7月31日)

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期累計期間 (自 2012年5月1日 至 2012年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2013年5月1日 至 2013年7月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	10円46銭	15円71銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	342,052	517,283
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	342,052	517,283
普通株式の期中平均株式数(株)	32,693,992	32,912,157
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	10円31銭	15円42銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	455,486	616,056
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 2013年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っています。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

(重要な後発事象)

株式取得による会社等の買収

当社は、2013年9月6日開催の取締役会において、以下のとおり、コーチ・ユナイテッド株式会社の株式を取得し子会社化する「基本合意書」を締結することを決議しました。

1．株式取得の目的

当社は、日本最大のレシピサイト「クックパッド」を中心として「食を中心とした生活インフラ」を提供するべく、新規サービス及び新規事業の立ち上げに注力しています。今回、事業領域の拡大を目的として、「プライベートコーチの Cyta.jp (咲いた.jp)」を運営するコーチ・ユナイテッド株式会社を完全子会社化する株式の取得について基本合意書を締結しました。

プライベートコーチの Cyta.jp (<http://cyta.jp>)は、語学・楽器・デザイン・スポーツ・資格取得など、約140種類のジャンルのレッスンのプライベートコーチ(個人指導の先生)が見つかるサイトです。今後はスマートフォン普及に合わせて、レッスンの検索・予約にとどまらず、ベビーシッターやハウスキーピングなどの幅広い地域サービスを取り扱う「サービスEC」へと発展していくことを目指しています。

今回の完全子会社化により、クックパッドの利用者の中心である既婚女性向けの生活領域でのサービスの提供が可能になります。また、運営ノウハウの共有や、特にスマートフォン分野でのより多くの利用者へのアプローチにより、利用者増加を推進していきます。

2．株式取得の相手先の名称

代表取締役 有安 伸宏

3．買収する会社の名称、事業内容、規模

- | | |
|--------------|--|
| (1) 被取得企業の名称 | コーチ・ユナイテッド株式会社 |
| (2) 事業の内容 | 音楽教室・語学教室・学習塾等の経営及びこれに関するノウハウの販売・経営指導等 |
| (3) 資本金の額 | 10,000千円 |

4．株式取得の時期

2013年10月1日(予定)

5．取得する株式の数、取得価額及び取得後の持分

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 取得する株式の数 | 1,000株 |
| (2) 取得価額 | 1,000,000千円 |
| (3) 取得後の持分比率 | 100.0% |

6．支払資金の調達及び支払方法

自己資金により充当

2 【その他】

2013年6月7日開催の取締役会において、2013年4月30日の株主名簿に記載された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議しました。

配当金の総額	164,417千円
1株当たりの金額	10円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2013年7月26日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2013年9月12日

クックパッド株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山本 守 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 坂井 知倫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクックパッド株式会社の2013年5月1日から2014年4月30日までの第17期事業年度の第1四半期会計期間（2013年5月1日から2013年7月31日まで）及び第1四半期累計期間（2013年5月1日から2013年7月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、クックパッド株式会社の2013年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。